

# スマートライフ学会 2025 年大会プログラム

大会テーマ：『まるごと未来都市』で実現するスマートライフ

開催日：2025 年 3 月 1 日（土），会場：摂南大学 寝屋川キャンパス 3 号館

10:30 受付開始

## セッション A

【会場：326 教室】座長：渋谷 雄（京都工芸繊維大学）

10:40-11:00

[A-1] ユーザー視点からのチャット型生成 AI ツールの比較分析 ☆

今泉 太耀, 遊橋 裕泰 静岡大学情報学部

11:00-11:20

[A-2] 情報 I を対象としたブロック図と GBS 理論を組み合わせたアルゴリズム学習法 ☆

高田 悠矢 筑波大学情報学類, 古川 宏 筑波大学システム情報系

11:20-11:40

[A-3] 生成 AI のプロンプトエンジニアリングに関する効果検証 ☆

酒井 隆寛, 遊橋 裕泰 静岡大学情報学部

11:40-12:00

[A-4] 「情報 I」を対象としたプログラミング的思考を習得するための制御構造と関数の可視化 ☆

大澤 崇琉, 大澤 崇琉 筑波大学情報学群, 古川 宏 筑波大学システム情報系

## セッション B

【会場：325 教室】座長：大森 正子（神戸女子大学）

10:40-11:00

[B-1] 医療機関における健康経営の取り組み

大崎 菜奈, 丁井 雅美 広島国際大学

11:00-11:20

[B-2] 医療機関における医療 DX の取り組み

松本 悠佑, 丁井 雅美 広島国際大学

11:20-11:40

[B-3] 異なる室温下の家庭料理調理時における調味料使用量の計測

上田 秀治 US デジタルラボ, 西 恵理 摂南大学

**スマートライフ学会理事会・総会** 【会場：327 教室】

12:10-12:50

**大会企画（無料公開）** 【会場：324 教室】 司会：藤田 美幸（新潟国際情報大学）

13:20-13:30

ご挨拶 スマートライフ学会長 遊橋 裕泰（静岡大学）

13:30-14:30

基調講演 データ駆動型スマートシティの実現に向けて ～大阪の挑戦～  
狩野 俊明 氏（大阪府 スマートシティ戦略部 戦略推進室 戦略企画課長）

**セッション C** 【会場：326 教室】 座長：長谷川 旭（岐阜市立女子短期大学）

14:40-15:00

[C-1] 観光 PR 動画制作のための合成音声評価—馬籠宿を例として—  
長谷川 旭, 今井 琴葉, 辻田 満月, 原 綺音 岐阜市立女子短期大学

15:00-15:20

[C-2] 高速度 AI カメラによるグループ競技ダンスの同調評価（第 2 報）—ユニゾンのダンス振付から  
シンメトリーとカノンへの拡張— ☆  
田河 琴音, 川野 常夫 摂南大学理工学部, 松尾英治 松尾電機エンジニアリング

15:20-15:40

[C-3] 授業動画の合成音声の受容性とその特徴についての一考察 ☆  
伊藤 友希乃, 遊橋 裕泰 静岡大学情報学部

**セッション D** 【会場：325 教室】 座長：古川 宏（筑波大学）

14:40-15:00

[D-1] 地域幸福度（Well-Being）指標による、デジタル田園都市構想実装の評価  
平松 隆志, 遊橋 裕泰 静岡大学創造科学技術大学院

15:00-15:20

[D-2] ICT フリーランスエンジニアを対象とした起業家志向に関するアンケート調査 ☆

後藤 謙太郎 静岡大学大学院総合科学技術研究科

15:20-15:40

[D-3] 日本のSVOD市場におけるアーキテクチャ戦略の比較分析：オープン性と閉鎖性のバランスがもたらす競争優位性

丹澤 弘樹, 遊橋 裕泰 静岡大学創造科学技術大学院

**セッション E**

【会場：326 教室】座長：村田 和義（青山学院大学）

15:50-16:10

[E-1] 養豚農場における繁殖影響要因のデータアナリティクス ～哺乳期間と出産回数～ ☆

鈴木 颯, 遊橋 裕泰 静岡大学大学院総合科学技術研究科

16:10-16:30

[E-2] 養豚業における繁殖サイクルの最適化のための要因分析 ☆

西村 維方, 遊橋 裕泰 静岡大学大学院総合科学技術研究科

**セッション F**

【会場：325 教室】座長：小川 哲司（名古屋経済大学）

15:50-16:10

[F-1] パン製造小売店における販売予測モデルを用いたウェザーマーチャンダイジングの検討 ☆

小濱 理子, 遊橋 裕泰 静岡大学情報学部

16:10-16:30

[F-2] 東京都の中古マンション市場における価格形成要因の分析 ☆

山形 一葉, 遊橋 裕泰 静岡大学情報学部

※ 上記☆印は若手研究者を対象とした学術奨励賞の審査対象です。

以上